



2026年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社ギックス
代表者名 代表取締役CEO 網野 知博
(コード番号：9219 東証グロース)
問合せ先 広報・IR部長 岩田 夏希
(TEL. 03-3452-1221)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2025年8月14日に公表しました2026年6月期通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年6月期通期連結業績予想数値の修正

(1) 2026年6月期通期連結業績予想数値の修正（2025年7月1日～2026年6月30日）

	売上高	コア営業利益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,500 ～4,000	240	130 ～150	110 ～130	10 ～30	1.79 ～5.36
今回修正予想（B）	2,700 ～2,800	18 ～98	△45 ～35	△69 ～11	△80 ～△25	△14.31 ～△4.47
増減額（B－A）	△1,300 ～△700	△222 ～△142	△195 ～△95	△199 ～△99	△110 ～△35	△19.67 ～△6.26
増減率（％）	△32.5 ～△20.0	△92.5 ～△59.2	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （2025年6月期）	2,398	△74	△99	△101	△99	△17.91

(2) 通期連結業績予想修正の理由

売上高におきましては、期初に想定していたM&A案件が未実現となった影響が大きく発生しました（影響額：300百万円～800百万円）。単体につきましては主に、案件大型化に伴い受注までのリードタイムが長期化していることに加え、第4四半期においても、大型プロジェクトの開始遅延を背景として一部の売上計上が翌期以降にシフトする可能性がある状況です。これらにより、売上高は当初予想を下回る見通しとなりました。コア営業利益につきましては、コストコントロールの強化により一定の水準は確保できる体制を確立したものの、主に単体売上高の変動影響により、当初予想を下回る見通しとなりました。営業利益および経常利益につきましては、一時的なM&A関連費用や、借入等の財務施策に伴う費用の発生により、概ね収支均衡水準を見込んでおり、またそれに伴い、親会社株主に帰属する当期純利

益も当初予想を下回る見通しとなったため、通期連結業績予想を修正いたします。なお、現在もプロジェクト開始に関する手続き等を推進している状況であり、特に利益への影響が大きいことを考慮し、上記の通りレンジ方式による開示としております。

なお、単体での利益は一定額を確保できる見込みであることもあり、期末配当予想については変更いたしません。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上